

第2部 親は…(7)

ここにいるよ

次回 子どもの貧困

19

の子しもを育てるキヨウコ39歳は7年前、統合失調症と診断された。不眠が続き、1時間しか眠れないという日々続いた。人の理屈が解くて頭脳から出られない状況でどうでも良くなれば寝る生活を始めた。妻の中には、タバコで頭を離しても見えない空間を作つてゆき、わいた。相手、子ともなればまだ小学生校に上がるなど年齢だけだが、「自分のことと同じ」と感じ、「ほんを作つた、子育てした記憶がない」ふうだ。当時キヨウコは夫のロバ(家庭内暴力)から逃れ、母子連携支援施設で暮らしていた。明け方、鳥の鳴き声や人の聲

「お前に立たず、おながを寺かせよともちのが、旅館の事情所置いてあつたお嬢子を主人で食べたりといつもあつた。」  
「おま、旅館の出なれど、おおそれれなかつた。職員が普通しゃべれたり、生田支店のヘルパーが子こもたちの食事作りや、入浴を手伝つてくれた。

病状は落ち着いたが、調子が良いときと悪いときに差があり、今も、当所に立正在してある。田舎を訪れた良家の学校の教師が、家の状況をみては政に掛けられ、仕事をまわるヘルパーを派遣する支援につなげてくれた。

最近、お母は、担当課をひどい言ひ方。部長や人事課長を罵り、一々代を困らせる経営的な弊害はなく、諭めや叱りなどは、心に痛む。近頃よく、求人探しを手に取る。「障がいがあるのも高校に行つてほし」、やりたいことをやらせてあげたい。

続く不眠家事困難に

第三章 亂世の政治家

540

統合失調症子に関する文

生活保護を受けながら、母子4人、アパートで暮らす。病状はこの2年ほどで少しあり回復して

文庫版

記事に関するご意見、情報をお寄せください。

記事に関するご意見、情報をお寄せください。  
ファックス：098（860）3483 メール：[kodomo-hinkon@okinawatimes.co.jp](mailto:kodomo-hinkon@okinawatimes.co.jp)